

警城時報

行發日一卅
編輯部發行
印刷所 警城時報社
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一ヶ月金肆圓
廣告料一行十四字計五十字
日刊(日曜祝祭日) 翌日休刊

東北振興皮革會社で 小名濱に工場新設

二月から早くも製造開始

東北振興皮革會社では小名濱町に對し轉業資金を提供、季節午前十時から市會議事堂に市内に製造工場を建設することに決外の困難に皮革工業に従事せる關係團體代表約三十名を招き、本社から氏家泰藏氏を小ししむることになり、原料は豊後十四年度の農產指導案の大工場の位置は町營魚市場附近の此等の原料船の廻航水揚げ場を選ばれてゐるが、地盤はゆるいもので見られ、同町上野町山榑工場の借入契約アリ船や底曳網なども季節外に製造することを成すに成つた。二月から早くも製造開始。二月から早くも製造開始。二月から早くも製造開始。

建設祭典協議

平市では来る紀元節當日舉行される建設祭典に、平市各團體代表約三十名が、午後一時から市各學校、各種團體代表を招き協議會を開く。

満洲移民募集

平市で、戦後と戦後を結ぶ佳話一つ、ことになつた。夏井村大字山崎出身、秋田縣秋野村の山崎君が、十月三十日無念の戦死をした。この時、山崎君は満洲に移民して、戦後と戦後を結ぶ佳話一つ、ことになつた。

战友から見舞金

夏井村牧野宏君を巡り、戦後と戦後を結ぶ佳話一つ、ことになつた。战友から見舞金。

目標は五分増収

十四年度の産米對策に

來月四日郡下町村技術員會

石城郡農會では、この水稲耕種改良百石と成つてゐるが、十四年度産米に對し、五分増の十八萬五千石を目指して、十月四日、郡下町村技術員會を開き、目標は五分増収。

市農業方針

大綱協議會

平市農會では、來月十二日に、市農會大綱協議會を開き、市農業方針の大綱協議會。

中野齒科

平市田町(電五〇九) 院長 中野 忠次

菊地野地兩氏へ

殊勳甲の部長賞は

平署けふ功勞警官表彰。殊勳甲の部長賞は。

濱崎氏夫人の篤行

内郷校舎増築

濱崎氏夫人の篤行。内郷校舎増築。

益々元氣で勤務

黒井春美君陣中便り

益々元氣で勤務。黒井春美君陣中便り。

平窪溜池設置問題可決

平窪溜池設置問題可決。

汽罐士試験

汽罐士試験。

玉の海一行

玉の海一行。

無言の凱旋

無言の凱旋。

藤田分會長出席

藤田分會長出席。

天氣豫報

天氣豫報。

玉の海一行

玉の海一行。

無言の凱旋

無言の凱旋。

藤田分會長出席

藤田分會長出席。

天氣豫報

天氣豫報。

玉の海一行

玉の海一行。

無言の凱旋

無言の凱旋。

藤田分會長出席

藤田分會長出席。

天氣豫報

天氣豫報。

玉の海一行

玉の海一行。

無言の凱旋

無言の凱旋。

藤田分會長出席

藤田分會長出席。

一日一言

自動車運轉手と交通道徳

湯本町天王崎坂本浅吉方自動車関係もあつて、一刻を争ふ場合...

平警員は、煙に依つて幸ひ兩名は直ちに検挙されたが、此處五、六年の間に六號国道内郷村...

交通事故を起す自動車の殆んど八、九割まではトラックである、尤も貸切りバスなど旅客自動車には客が乗つてゐるため...

新文具御案内

マルトモ書店入荷品 セルロイ製 正札カード 1.80x2.40

(1) 文字鮮明、印刷美で商品に引立て、商店の品位を高めます。

吉田眼科 平市紺屋町(電話六八番)

木村外科醫院 平市六丁目 電話三〇九番

外科・花柳病門 平市古鍛冶町

塩屋 電話二二七番

関内藥局 電話四〇番

吸入用酸素純度99% 体温器 寒暖計

耳鼻咽喉科 大和田醫院 平市南町(電話一〇七番)

産科・婦人科 井坂醫院 平市田町 電話五五九番

松村村松 腸胃病科 電話七〇一

スッポノ酒 二圓 店賣販下縣 局藥邊野山

冷凍魚 日本水産特約(電話三六三三)

木村病院 院長 木村貢次郎

安齋醫院 院長 安齋徹

高久病院 院長 高久忠